

(第 21 回)
パーソナル先端商品の利用状況

(調査結果の概要)

2006年3月

社団法人 中央調査社

パーソナル先端商品の利用状況

2006年3月
社団法人 中央調査社

社団法人 中央調査社は、全国2,000人の20歳以上男女個人を対象とする調査から、「家庭向け・個人向け先端商品の利用率、利用意向率」をまとめました。調査時期は2006年2月、回収率は65.7%（有効回収1,314人）です。この調査は1986年11月から毎年行っており、経年比較によって各商品の伸長などを読み取ることができます。

今回の調査結果からみた主なポイント

- 「DVDプレーヤー」「デジタルカメラ」とも5割近い、「液晶テレビ」は1割台半ばに
1. AV関連機器等では、「BS放送用受信装置」は前回より増加し、4割弱の普及、前々回急増の「ケーブルテレビ」の利用率は2割台の横ばい。「BSデジタル放送用受信装置」は1割強に増加、「CS放送受信装置」は伸長しているが、伸び率は大きくない。前々回から調査開始した「地上デジタル放送用受信装置」は倍増の7.6%の利用率。
 - ・3年前から調査開始した「液晶テレビ」は引き続き増加して1割台半ばに、「プラズマテレビ」は4.5%の利用率。「ビデオカメラ」は増加して3割台半ばの利用率。
 - ・増加傾向の「デジタルカメラ」はさらに8ポイントの大幅増で5割近くに達した。「MDプレーヤー」も3割台半ばと順調に伸長、「DVDプレーヤー」の利用率も前回比9ポイント増と5割近くの利用率となった。「家庭用ゲーム機」は増加して、約3人中1人の利用率、前回から調査開始した「携帯用ゲーム機」は増加して2割弱の利用率。

- 「パソコン（計）」の利用率は、過半数（53.6%）引き続き高い利用意向
2. パソコン関連機器では、「デスクトップ型」「ノート/ブック型」はともに増加し、順に32.2%、30.3%の3割台の利用率。「パソコン用プリンター」も5ポイント増の4割台に、「スキャナー」は漸増傾向、「パソコン（計）」の利用率は53.6%と、半数を超えた。

- 「携帯電話（計）」は約4人中3人が利用、「インターネットの利用者」は4割弱
3. 通信関連等では、「インターネットの利用」は増加して4割近くに、「ブロードバンド回線の利用率」はさらに6ポイント増で3割に近づいた。「インターネット電話（IP電話）」の利用率は7.8%。
 - ・「携帯電話（計）」の利用率はさらに増加して7割（72.9%）を突破した。携帯電話のうち、「カメラ、TV電話、音楽配信などの機能付き携帯電話」は、5ポイント増の47.6%の利用。
 - ・「家庭用ファクシミリの利用」はさらに増加して、4割台（42.5%）に達した。

- （新規）利用意向は、「液晶テレビ」「地上デジタル放送用装置」が高い
4. 今後の（新規）利用意向は、3年連続で「液晶テレビ」が17.4%と最も高く、以下、「地上デジタル放送用装置」が16.0%、「プラズマテレビ」が13.6%、「パソコン（計）」が12.4%、「BSデジタル放送用受信装置」が8.7%、「ノート/ブック型パソコン」が6.9%、「BS放送用受信装置」が6.1%などが上位を占める。
 - ・前回との比較では「液晶テレビ」「プラズマテレビ」「パソコン（計）」の利用意向は引き続き1割を超えた高率で、今回「地上デジタル放送用装置」がさらに加わった。

1. 利用率（図表1）

- ・ A V関連機器等のうち、「B S放送用受信装置」は前回より増加して 37.4%と、4割近い利用率。「B Sデジタル放送用受信装置」は前回より4.3ポイント増加して、11.1%と1割を超え、「C S放送用受信装置」は微増の 8.3%となった。前々回から調査開始した「地上デジタル放送用受信装置」は4.6ポイント増の7.6%の利用率となっている。前々回大きな伸びがみられた「ケーブルテレビ」は横ばいの 20.6%と2割台を保持。3年前から調査開始した「液晶テレビ」は順調に増加して、14.3%と1割台に、「プラズマテレビ」も漸増傾向で4.5%の利用率である。
- ・ これまで増加傾向の「デジタルカメラ」は前回より8.1ポイントと大幅に増加して、5割近く（47.1%）、「ビデオカメラ」は35.9%の利用率で前回より伸ばした。
- ・ 「MDプレーヤー」は順調に伸長して、34.1%と3割台半ばを占め、「携帯メモリーオーディオ（i-podなど）」は4.9ポイント増の7.5%となっている。
- ・ パソコン・ゲーム機の機能を含めた「DVDプレーヤー」は前回より8.7ポイントと大幅に伸長して半数近く（46.7%）となり、「ハードディスクレコーダー」も増加して12.3%と1割を超えた。「家庭用ゲーム機」は増加して31.5%と3割台にのぼり、前回から調査を開始した「携帯用ゲーム機」は4.6ポイント増の18.9%と2割弱の利用率。
- ・ パソコン関連機器では、前回横ばいの「パソコン(計)」は4.9ポイント増加して、53.6%と、過半数の利用率となった。パソコンのうち、「デスクトップ型（据え置き型）」は32.2%で前々回の水準に戻し、これまで増加傾向の「ノート/ブック型」はさらに微増して3割台（30.3%）となり、「ミニノート型」は9.9%で漸増傾向にある。
- ・ 「パソコン用プリンター」は前回より増加して、43.5%と4割を超え、「スキャナー」は2割近い（18.3%）利用率で漸増傾向を示している。「携帯型情報端末（PDA）」は3.6%の利用率。
- ・ 通信関連等では、「インターネットの利用」は、前回より5.4ポイント増の39.4%とほぼ4割の利用率で、「パソコン利用者」でみると、7割台（73.5%）の利用となる。高速大容量通信の「ブロードバンド回線の利用（ADSL、光ファイバー、CATV）」は前回より6.1ポイント増加して28.0%と順調に伸び、「インターネットの利用者」の7割超（71.1%）の人が“ブロードバンド・ユーザー”となった。前々回から調査開始した「インターネット電話（IP電話）」の利用率は7.8%に伸長した。
- ・ 前々回大きく増加した「携帯電話（計）」の利用率は微増して、72.9%と7割を超えた。携帯電話のうち、「カメラ、TV電話、電子マネー決済、音楽配信機能付きなどの携帯電話」は5.1ポイント増の47.6%と5割に近づいた。「前記機能付きを除く携帯電話」は32.1%と横ばいで、「カメラなど機能付き携帯電話」に移行している。一方、「PHS」は2.4%の利用率で、ここ4年間は2～3%にとどまっている。
- ・ これまで増加傾向の「家庭用ファクシミリ」は前回より5ポイント増の42.5%と、4割を超えた。

2 利用意向率（図表1）

- ・次に、これらの機器を「これから先、新たに利用したい」と思う人の比率をみると、上位のものから順に、3年前から調査開始した「液晶テレビ」が17.4%と、3年連続で最も高く、次いで、「地上デジタル放送用受信装置」が16.0%、「プラズマテレビ」が13.6%、「パソコン（計）」が12.4%、これらが1割台の利用意向と高い。以下、やや離れて「BSデジタル放送用受信装置」が8.7%、「ノート/ブック型パソコン」が6.9%、「BS放送用受信装置」が6.1%、「CS放送用受信装置」が5.0%などの順に高く、今後の利用意向はAV関連機器等分野に多い。これまで利用意向の高かった「デジタルカメラ」の比率は4.1%と際立っていない。
- ・パソコンの新規利用意向の内訳では、「ノート/ブック型」が6.9%と堅調、「ミニノート型」が3.4%、「デスクトップ型」が2.9%となっている。「携帯電話」の内訳では「カメラ等の機能付き」が2.3%、「機能付き以外」が0.5%で、「携帯電話（計）」で2.7%と普及が一巡したためか、利用意向は大きくない。

3 年代別の特徴（図表2）

（利用率）

AV関連機器等については、

- ・「BS放送用受信装置」の利用率は、いずれの年代でも3割台～4割強（32.2～41.2%）と高く、年代差は比較的小さい。ここ3年大きな変化がなかった「ケーブルテレビ」は各年代で2割前後（17.3～23.9%）の利用率となっている。
- ・「ビデオカメラ」は年代差が大きく、30～40代での利用率が高く、5割台（52.9～56.7%）を占める。「デジタルカメラ」は、20～40代で59.7～66.5%と過半数を占めて高いが、60歳以上では2割台（23.6%）にとどまる。
- ・「DVDプレーヤー」、「MDプレーヤー」はともに20代の利用率が最も高く、順に7割強（71.9%）、6割弱（58.2%）の比率で、加齢と共に低下、年代差が大きい。また「DVDプレーヤー」は30～40代での利用も6割台（65.0～68.1%）を占めている。「家庭用ゲーム機」は若年層ほど利用率が高く、20代の55.4%が最高、30～40代でも5割前後（48.3～50.7%）を占め、年代差が大きい。「携帯用ゲーム機」は20～40代で3割前後（29.7～32.6%）の利用率となっている。

パソコン関連機器では、

- ・「パソコン（計）」は年代差が大きく、20～40代での利用が7割弱～8割（68.2～79.5%）の比率に対して、60歳以上では2割台（25.2%）にとどまっている。
- ・「パソコン用プリンター」は20～40代で過半数（54.1～62.2%）を占めて多く、「スキャナー」は30～40代（27.1～29.9%）を中心に高い。

通信関連等では、

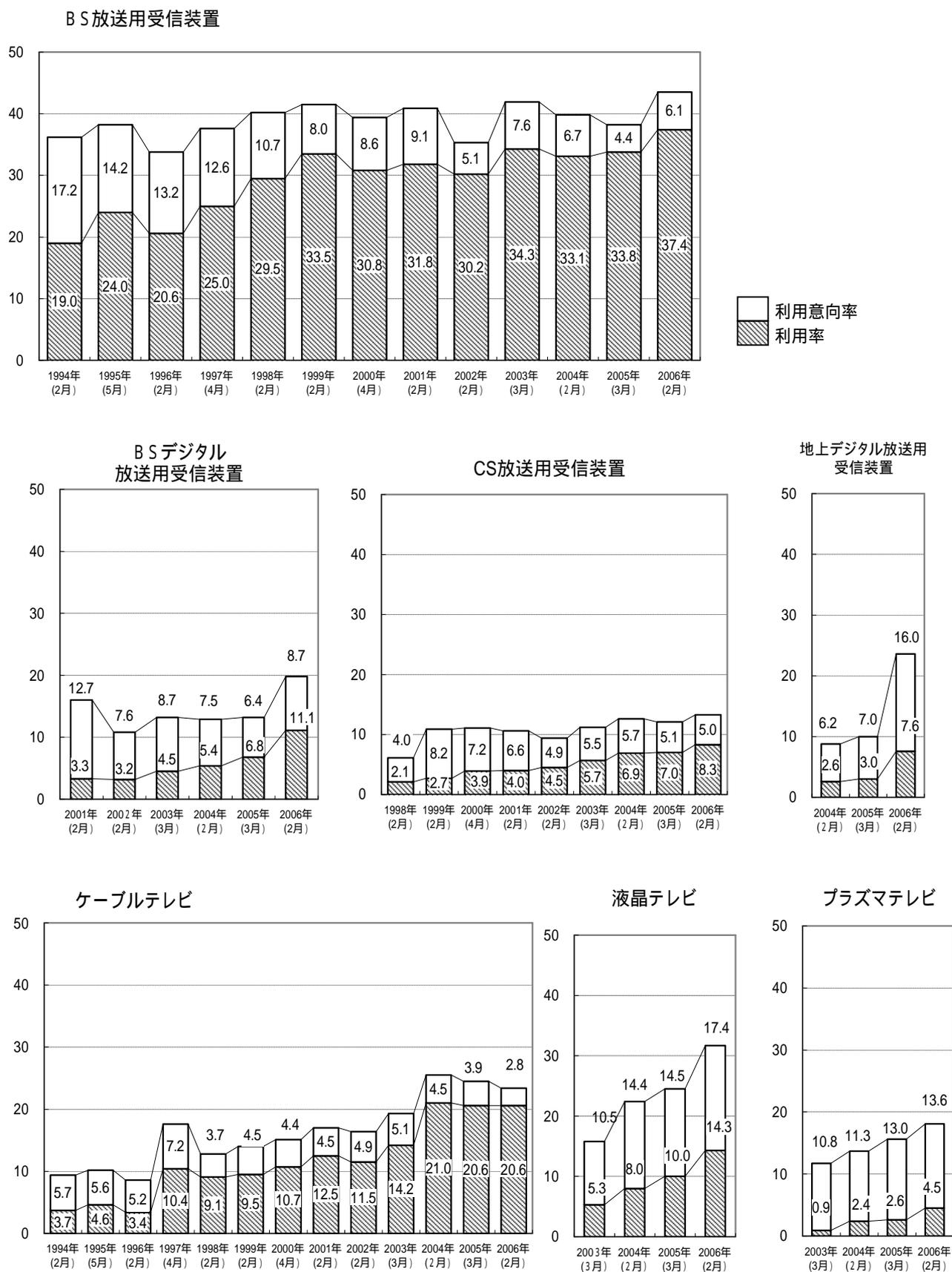
- ・「インターネットの利用」は30代の62.8%を筆頭に、20代、40代でも半数（54.8～57.5%）を超えた利用率となっており、前回伸長の大きかった「ブロードバンド回線の利用」は20～40代で4割台の利用率（40.5～45.3%）と、両者とも年代差がみられる。

- ・「携帯電話（計）」は年代差が大きく、20～30代で9割台（93.5～98.6%）、40代で8割台（85.7%）、50代で7割台（74.0%）、60歳以上でも4割台（42.1%）と今や生活の必需品となっている。そのうち、「カメラなどの機能付き携帯電話」の利用率は20代では8割（80.8%）を超えて、最も高い。
- ・「家庭用ファクシミリ」は40代の過半数（53.1%）を中心に、他の年代では3割台～4割台（34.6～46.9%）の利用率となっている。

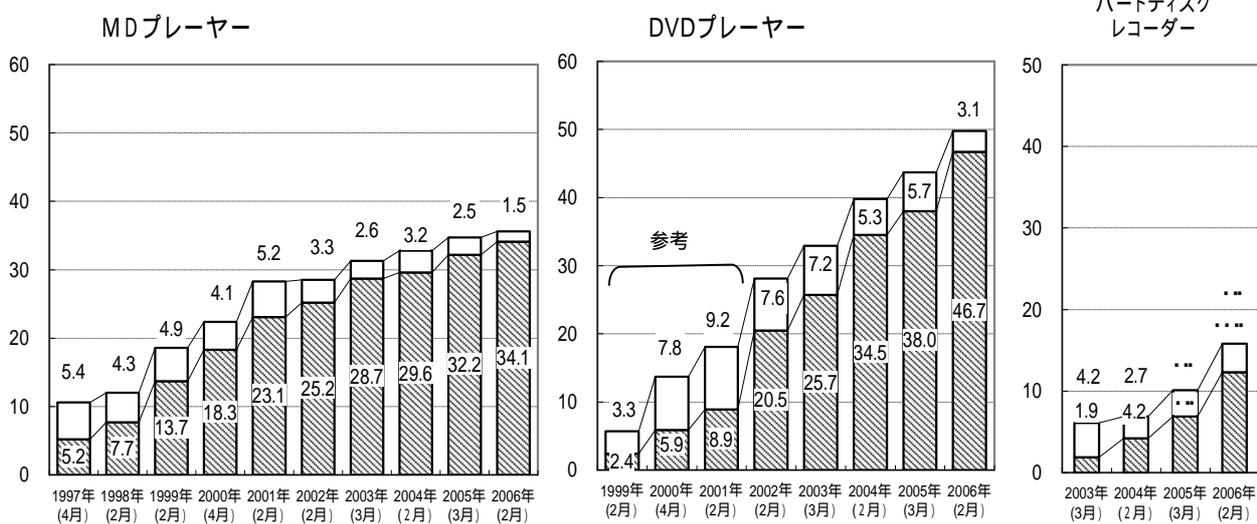
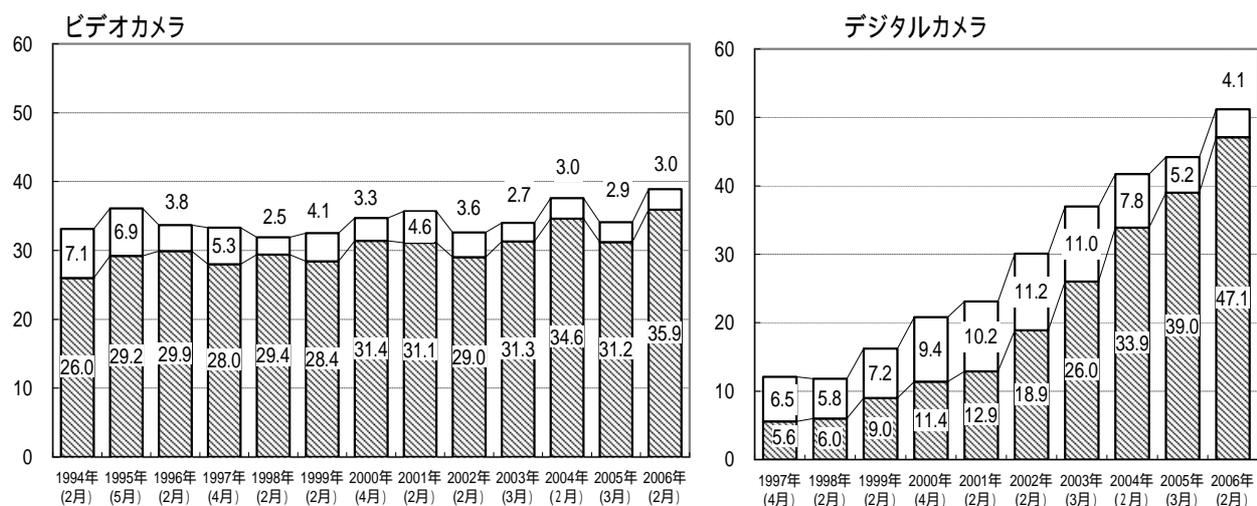
（利用意向率）

- ・ AV関連機器等では、利用意向率で上位1～2位を占めた「液晶テレビ」「地上デジタル放送用受信装置」は60歳以上を除きいずれの年代でも1割以上と強く、前者は20代で24.6%、後者は30代で25.6%と最も高く、今後の伸びが大いに期待される。また、3位の「プラズマテレビ」も20～30代の若年層で2割台（21.2～24.3%）と高い。そのほか、20代で「携帯メモリーオーディオ（i-podなど）」（10.3%）、「CS放送用受信装置」（11.6%）、30代で「BSデジタル放送用受信装置」（14.6%）の利用意向が高い。
- ・ パソコン関連機器では、「パソコン（計）」をはじめとして、いずれの型式でも20～40代で利用意向が高く、「パソコン（計）」では20代で2割近く（17.8%）となっている。「パソコン用プリンター」は40代（5.9%）でやや高い。
- ・ 通信関連等では、「ブロードバンド回線の利用」は20代で8.9%と高く、他の年代を上回り、「インターネットの利用」は20～40代で利用意向がやや高い（4.3～4.8%）。「インターネット電話（IP電話）」の新規利用意向は40代（4.1%）が中心となっており、「家庭用ファクシミリ」は20～30代（2.7～2.9%）でやや高い。

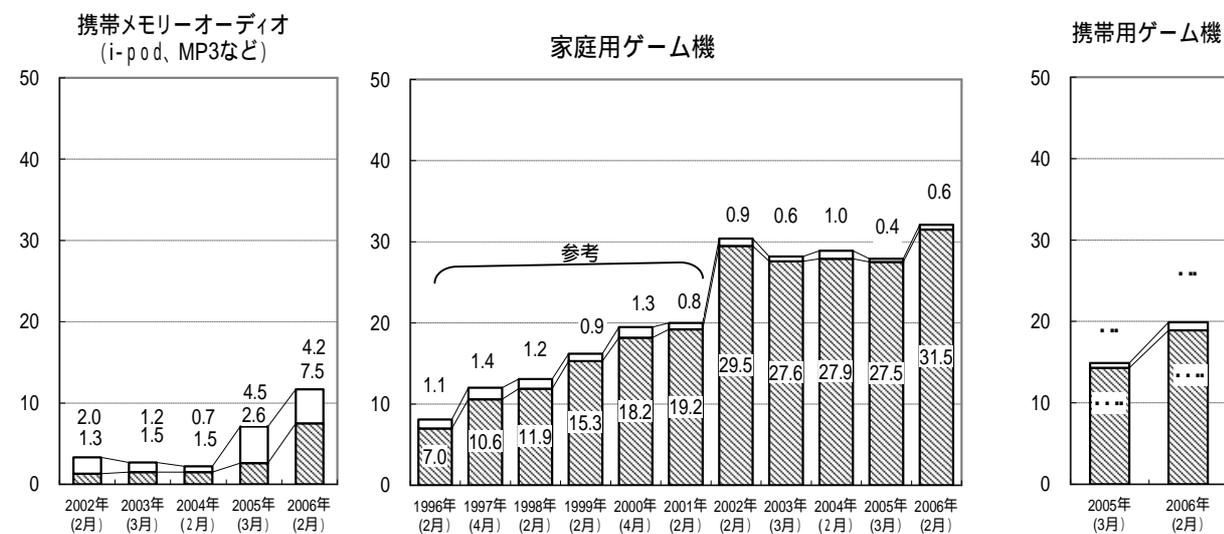
図表1 パーソナル先端商品の利用率・利用意向率



図表1 パーソナル先端商品の利用率・利用意向率(つづき)

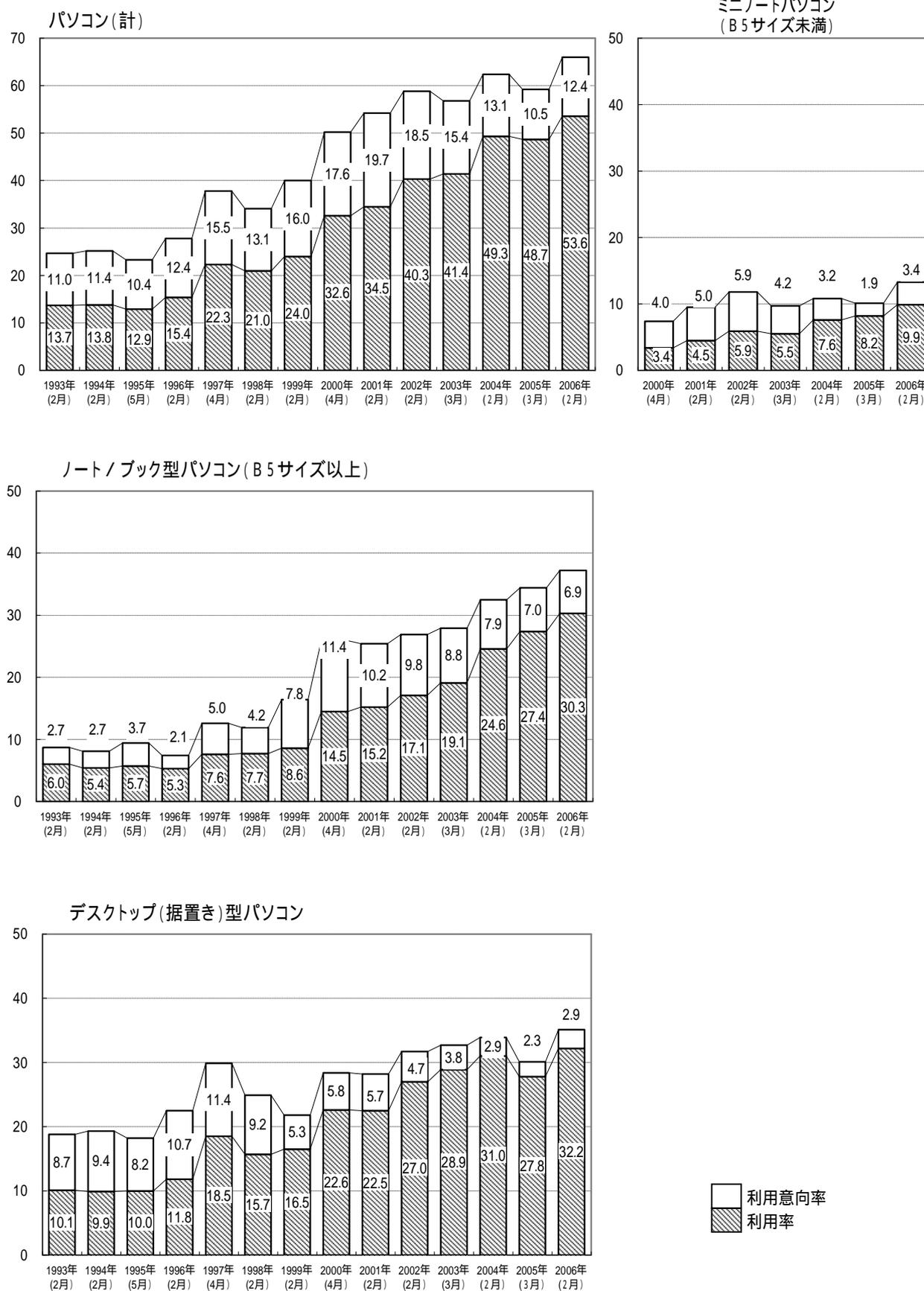


*2002年より「パソコン・ゲーム機の機能」を含む

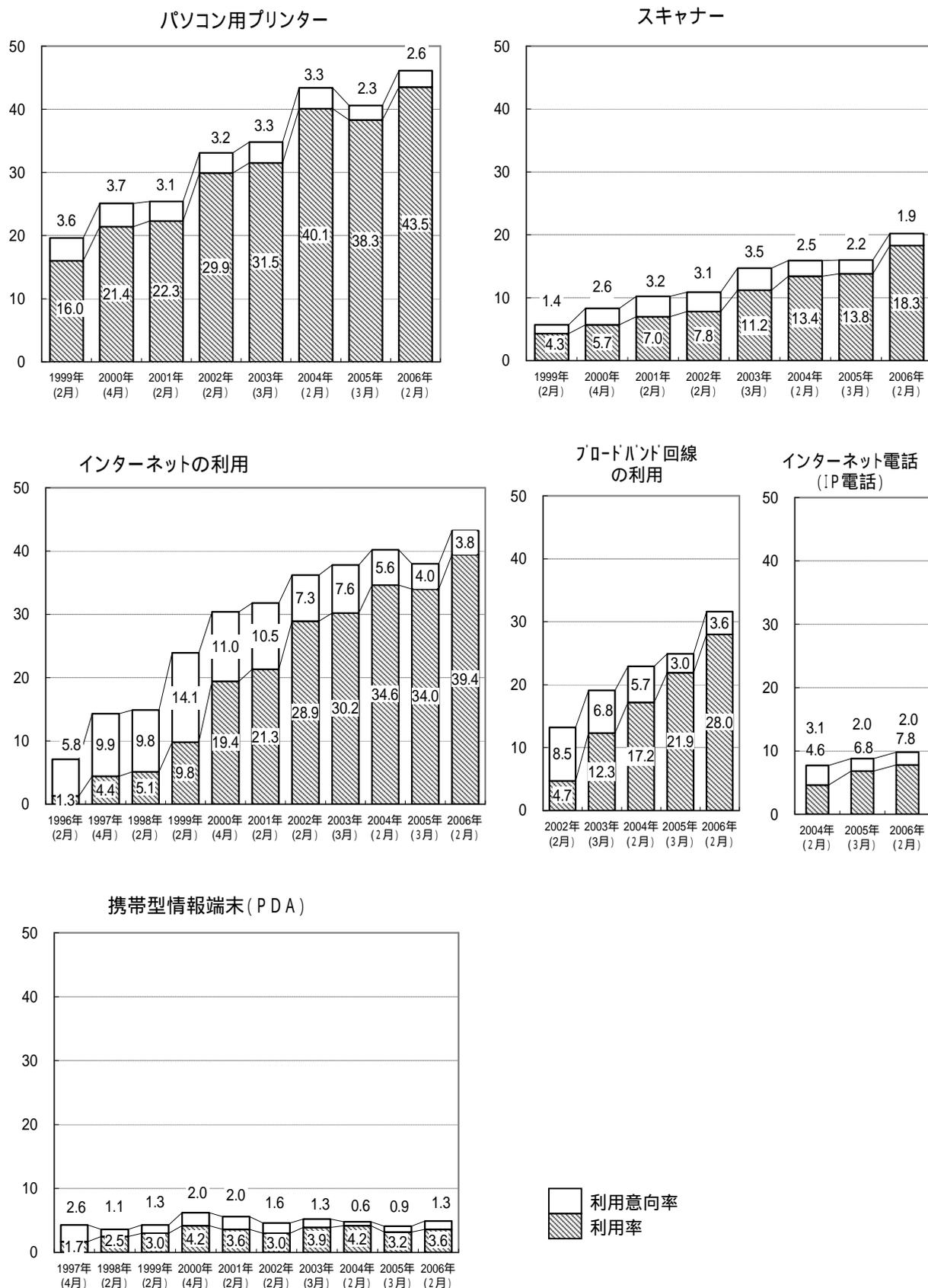


*2002年より「32ビット以上」の限定をなくした

図表1 パーソナル先端商品の利用率・利用意向率(つづき)

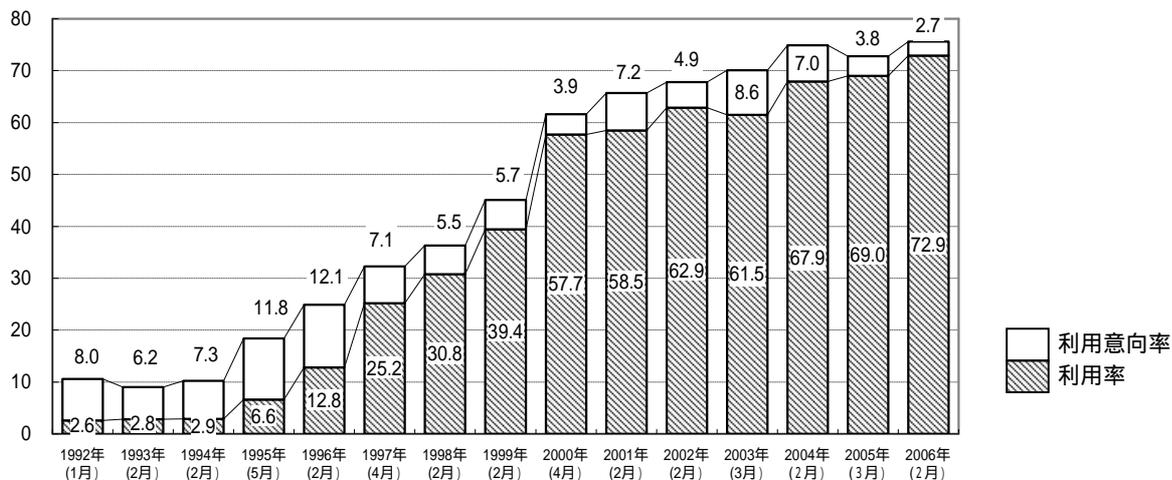


図表1 パーソナル先端商品の利用率・利用意向率(つづき)

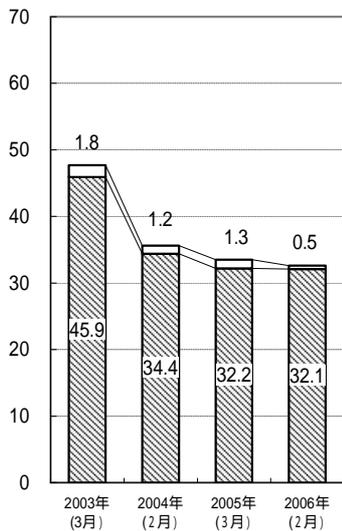


図表1 パーソナル先端商品の利用率・利用意向率(つづき)

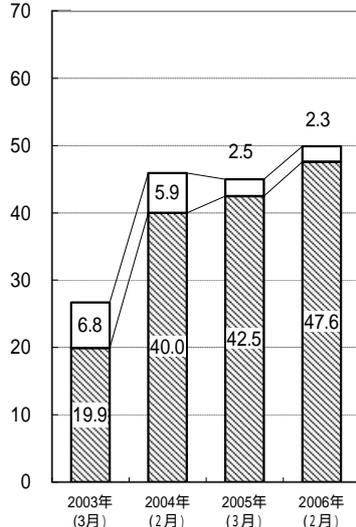
携帯電話(計)



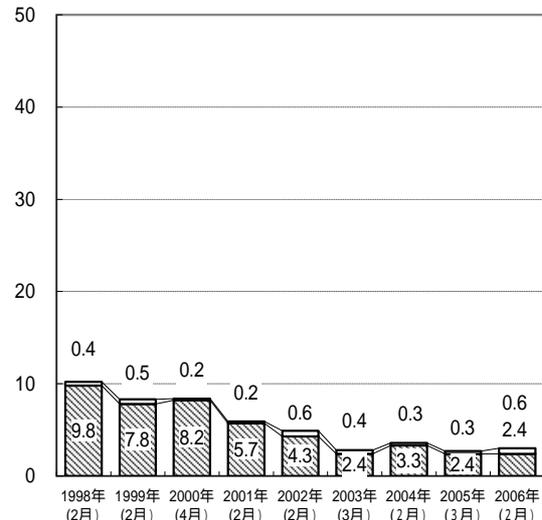
携帯電話(機能付きを除く)



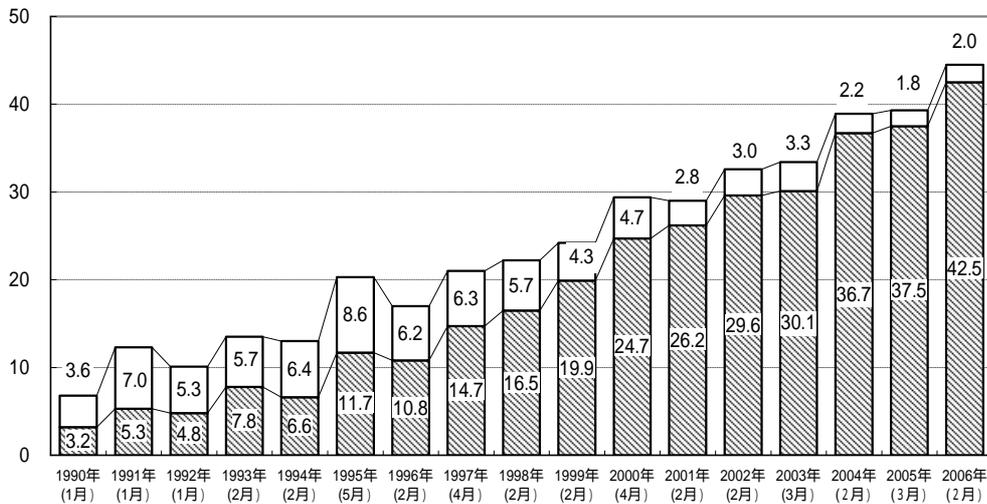
携帯電話(カメラ、TV電話、マネー決済、音楽配信など)



PHS



家庭用ファクシミリ



図表2 年代別利用率・利用意向率

		(%)														
		B S 放送 受信装置	B S デジタル 放送 受信装置	C S 放送 受信装置	地上 放送 受信装置	ケーブル テレビ	液晶 テレビ	プラズマ テレビ	ビデオ カメラ	デジタル カメラ	M D プレーヤー	D V D プレーヤー	ハード ディスク レコーダー	携帯メモリー オーディオ	家庭用 ゲーム機	携帯用 ゲーム機
利用率	全体	37.4	11.1	8.3	7.6	20.6	14.3	4.5	35.9	47.1	34.1	46.7	12.3	7.5	31.5	18.9
	20代	32.2	13.0	9.6	4.1	23.9	15.1	4.1	35.0	61.7	58.2	71.9	15.1	15.8	55.4	30.8
	30代	33.8	6.8	12.0	7.5	22.0	14.8	4.6	56.7	66.5	47.6	68.1	19.9	11.8	50.7	32.6
	40代	40.6	12.8	11.1	8.4	22.4	14.9	7.4	52.9	59.7	44.6	65.0	23.0	12.2	48.3	29.7
	50代	41.2	15.0	8.5	9.6	20.9	17.7	4.8	33.0	46.3	30.9	42.4	11.5	5.1	20.5	13.0
	60歳以上	38.2	9.4	4.2	7.8	17.3	11.4	3.0	18.3	23.6	11.6	16.2	2.2	0.0	7.2	3.8
	(年代差)	(9.0)	(8.2)	(7.8)	(5.5)	(6.6)	(6.3)	(4.4)	(38.4)	(42.9)	(46.6)	(55.7)	(20.8)	(15.8)	(48.2)	(28.8)
利用意向率	全体	6.1	8.7	5.0	16.0	2.8	17.4	13.6	3.0	4.1	1.5	3.1	3.5	4.2	0.6	1.0
	20代	8.2	10.3	11.6	21.9	4.8	24.6	21.2	6.9	7.5	2.1	5.5	6.2	10.3	2.1	4.1
	30代	8.6	14.6	9.1	25.6	2.7	23.4	24.3	4.0	5.8	1.6	4.8	8.7	8.2	0.9	0.9
	40代	3.1	7.8	4.2	16.5	1.5	20.8	15.0	2.0	4.1	2.0	3.7	4.0	4.9	0.9	0.7
	50代	8.4	8.3	3.0	13.5	3.3	15.6	9.1	1.9	2.1	1.5	1.9	1.3	0.9	0.0	0.0
	60歳以上	3.6	5.2	1.1	9.0	2.2	9.7	5.7	1.5	2.7	0.8	1.5	0.4	0.4	0.0	0.2
	(年代差)	(5.5)	(9.4)	(10.5)	(16.6)	(3.3)	(14.9)	(18.6)	(5.4)	(5.4)	(1.3)	(4.0)	(8.3)	(9.9)	(2.1)	(4.1)

		パソコン (計)	ミニ ノート パソコン	ノート パソコン ク型	デスクトップ コン型	パソコン 用プリンター	スキャナー	携帯型 情報端末 (PDA)	インターネット の利用	ブロードバンド の利用 線	インターネット (IP 電話) 電話	携帯電話 (計)	携帯 電話 (機能付きを除く)	携帯 電話 (カメラ、TV 電話付など)	P H S	家庭用 フォン シミ
利用率	全体	53.6	9.9	30.3	32.2	43.5	18.3	3.6	39.4	28.0	7.8	72.9	32.1	47.6	2.4	42.5
	20代	72.6	12.3	40.4	42.4	54.1	18.4	4.8	57.5	43.8	11.7	98.6	26.7	80.8	4.8	40.4
	30代	79.5	13.3	45.3	45.7	62.2	27.1	2.0	62.8	45.3	13.8	93.5	39.2	65.8	2.7	44.7
	40代	68.2	16.1	41.9	43.1	58.2	29.9	6.6	54.8	40.5	10.4	85.7	35.3	57.0	4.4	53.1
	50代	49.4	10.8	27.7	33.6	42.1	17.5	5.6	34.4	23.6	6.1	74.0	36.1	45.4	1.7	46.9
	60歳以上	25.2	3.5	12.9	13.6	21.8	8.2	1.2	13.1	7.3	2.3	42.1	27.1	17.8	0.6	34.6
	(年代差)	(54.3)	(12.6)	(32.4)	(32.1)	(40.4)	(21.7)	(5.4)	(49.7)	(38.0)	(11.5)	(56.5)	(12.5)	(63.0)	(4.2)	(18.5)
利用意向率	全体	12.4	3.4	6.9	2.9	2.6	1.9	1.3	3.8	3.6	2.0	2.7	0.5	2.3	0.6	2.0
	20代	17.8	6.2	8.9	3.4	2.7	3.4	2.0	4.8	8.9	2.7	0.7	0.0	0.7	1.4	2.7
	30代	16.0	4.6	8.2	4.8	2.4	3.8	3.1	4.3	5.2	2.0	3.0	0.0	3.0	0.6	2.9
	40代	16.7	4.1	9.3	5.1	5.9	2.9	1.5	4.7	4.0	4.1	3.0	0.4	2.6	0.9	2.0
	50代	10.1	2.5	6.2	1.8	0.5	0.9	0.8	3.4	2.1	1.6	2.8	0.5	2.4	0.0	1.6
	60歳以上	6.9	1.7	4.3	1.1	2.3	0.2	0.2	2.9	0.8	1.0	3.4	1.1	2.6	0.4	1.3
	(年代差)	(10.9)	(4.5)	(5.0)	(4.0)	(5.4)	(3.6)	(2.9)	(1.9)	(8.1)	(3.1)	(2.7)	(1.1)	(2.3)	(1.4)	(1.6)

(調査品目および質問項目)**〔今回の調査品目〕****(注) 前回からの変更点**

[1] B S 放送受信装置 (N H K 第一、第二など)	変更なし
[2] B S デジタル放送用受信装置 (B S 朝日、 B S フジ、 B S ジャパンなど)	変更なし
[3] C S 放送用受信装置 (スカイパーフェク T V ! など)	変更なし
[4] 地上デジタル放送用受信装置	変更なし
[5] ケーブルテレビ (C A T V ・ 有線テレビ)	変更なし
[6] 液晶テレビ	変更なし
[7] プラズマテレビ	変更なし
[8] ビデオカメラ	変更なし
[9] デジタルカメラ	変更なし
[10] M D プレーヤー	変更なし
[11] D V D プレーヤー (パソコン、ゲーム機の機能も含む)	変更なし
[12] ハードディスクレコーダー (ハイブリッドレコーダーも含む)	変更なし
[13] ミニノートパソコン (モバイルノート : B 5 判サイズ未満)	変更なし
[14] ノート / ブック型パソコン (B 5 判サイズ以上)	変更なし
[15] デスクトップ型 (据え置き型) パソコン	変更なし
[16] パソコン用プリンター	変更なし
[17] 携帯型情報端末 (P D A - ザウルス、パームなど)	変更なし
[18] スキャナー	変更なし
[19] 家庭用ファクシミリ	変更なし
[20] 家庭用ゲーム機 (プレイステーション 2、 X b o x など)	変更なし
[21] 携帯用ゲーム機 (プレイステーション・ポータブル、任天堂 D S など)	変更なし
[22] 携帯電話 (下記機能を除く)	変更なし
[23] 携帯電話 (カメラ、 T V 電話、電子マネー決済、音楽配信付きなど)	変更なし
[24] P H S	変更なし
[25] インターネットの利用	変更なし
[26] ブロードバンド回線の利用 (A D S L、光ファイバー、 C A T V、無線 L A N など)	変更なし
[27] インターネット電話 (I P 電話)	変更なし
[28] 携帯メモリーオーディオ (i - p o d、 M P 3 プレーヤーなど)	変更なし

注)・図表中の「パソコン(計)」は[13]～[15]を合計した利用率・意向率を表したものである。

・図表中の「携帯電話(計)」は[22]～[23]を合計した利用率・意向率を表したものである。

〔調査項目〕

前回から引き続き、以下の2項目。いずれも多項選択式

(1) 「あなた自身が持っているもの、または家において自分で使っているもの」(利用率)

(2) 「これから先、新たに利用したいもの」(利用意向率)

調査の概要

(調査設計)

(1)調査地域	全 国
(2)調査対象	20 歳以上の男女個人
(3)標本数	2,000
(4)抽出方法	層化 2 段無作為抽出
(5)調査方法	個別面接聴取法
(6)調査時期	2006 年 2 月 10 日～13 日
(7)有効回収数	1,314 (回収率 65.7%)

(属性別回収内訳)	規正標本数	構成比(N=1,314)
(1)市郡規模		%
15 大市	330	25.1
その他の市	764	58.1
町 村	220	16.7
(2)性 別		
男 性	636	48.4
女 性	678	51.6
(3)年代別		
20 代	221	13.1
30 代	234	17.8
40 代	201	15.3
50 代	244	18.6
60 歳以上	423	32.2
(4)職業別		
農林漁業	24	1.8
商工サービス業	180	13.7
事務職	242	18.4
労務職	297	22.6
自由業・管理職	35	2.7
無職の主婦	325	24.7
学 生	33	2.5
その他の無職	178	13.5

回収率の性・年代差による歪みを補正（過去のデータも同様の補正を行った）

東京 23 区及び 2005 年 4 月現在の政令指定都市

<問い合わせ先>

東京都中央区銀座 6 - 16 - 12

社団法人 中央調査社（会長 若林 清造）

T E L 0 3 (3 5 4 9) 3 1 2 1

（担当：調査部 吉川、川島）

* より詳細なクロス集計表を有料（15,750 円（税込み））で頒布しています。